

地球の子ども通信 30 周年記念事業 「地球・子ども達の未来」

実 施 要 項

地球の子ども通信 (CCE)

1. 主 旨

地球の子ども通信は、この地球上にたくさんの友達を作り枠取りのない子どもの目線で捉えた国際交流を深めることを目的とし、1992 年に発足。主にアジアの国々を中心として交流事業を展開し、現在に至っている。

今回、設立 30 周年を迎えその記念事業として「地球・子ども達の未来」を計画。これまで 55 回にわたる、子ども達のための国際交流事業を支えてきた各国の関係者やホームステイ事業参加経験者と共に、地球の子ども通信国際交流事業の成果と、更なる子ども達の未来交流を果たすための会議を目的として実施する。

継続的な国際交流事業を通して、子ども達は言語や宗教、生活文化の違いを相互に学びながら世界観を拓けてきた。特にアジアの国々に拓がった子どもレベルでの友情交流は、異文化相互理解の芽を育む機会として重要な役割を果たしてきた。又、大人へと成長した子ども達の継続的な交流が、現在も育まれている。地球の子ども通信国際交流事業は、地球人として未来を生きる子ども達にとってかけがえのない場となっている。

これまで、地球の子ども通信は 1993 年第一回国際交流事業として行った「シンガポール小学生による仙台ホームステイプログラム」を行い、その後インドネシア、カンボジア、香港、ラオスなどの子ども達 (小学生～大学生) を対象とした**招聘、派遣ホームステイ交流事業**を年 1 回～2 回継続している。

又、2002 年、2006 年、2011 年と、5 年毎に設立記念事業として「地球の子ども通信国際子ども会議 in Miyagi」を、2016 年には 25 周年を記念して「アジアに根づいた子ども達の友情文化交流」を開催。アジア 6 か国の子ども達による意見発表、意見交換を行った。2011 年 3.11 東日本大震災後は、交流国 (シンガポール、インドネシア、ラオス) の子ども達と「共に生きること、助け合うこと、未来に活かすこと」をテーマに、被災地訪問を通して体験的に学ぶ子ども会議を実施した。

更に、2020 年からは世界的なコロナ禍の影響により招へい派遣ホームステイプログラムが延期となっているが、子ども達の国を越えた交流を継続するためのひとつの方法として、オンライン交流事業を 3 回 (ラオス、カンボジア、インドネシア) 行った。

これらの成果の中で、今回の設立 30 周年記念事業を実施するに至った。

2. 目 的

次代を担う世界中の子ども達に国際親善の輪を拓げ、子どもレベルでの友情交流と文化相互理解を深める。

3. 方 法

これまでの地球の子ども通信国際交流事業に関わった各国の関係者や、ホームステイ事業参加経験者と共に、「地球・子ども達の未来」を開催する。尚、オンラインも使用する。

4. 内 容

●参加国・参加者 (予定)

参加国 / インドネシア、カンボジア、ラオス、日本

参加者 / 地球の子ども通信国際交流事業関係者、国際交流事業参加経験者

●日時 2023年6月11日(日) 10:00~12:00

●会場 日立システムズホール仙台 エッグホール

●「地球・子ども達の未来」内容

I. 各国代表者による発表 (日本 インドネシア カンボジア ラオス)
テーマ 「CCE ホームステイプログラム体験を通じた子ども達の成果と未来」
「これからのホームステイ交流事業について」

II. 質疑応答

III. 日本文化紹介

その他の活動 6月9日(金)~15日(木)

宮城県、仙台市の歴史と文化に触れ、産業を知る交流プログラム。別紙参照

5. 経費

原則として、参加者の渡航費、渡航手続き費、及び個人的な費用については参加者負担とする。尚、「地球・子ども達の未来」開催費は、地球の子ども通信(CCE)が負担する。

6. 組織

主催：地球の子ども通信 (Children's Communication on Earth)

後援：宮城県 仙台市 (公財)宮城県国際化協会 (公財)仙台観光国際協会

地球の子ども通信(CCE)事務局

〒981-3213 仙台市泉区南中山1丁目24-5
TEL FAX / 022-376-5382 e-mail / nra55237@nifty.com
URL / <http://www.cce-sendai.jp/>